

# 2月のできごと

## 街のアルバム



岩松北地区梅まつり  
二月二十七日  
(岩本山公園)



### じっくりたるまを品定め

#### 「毘沙門天大祭」

2月15～17日 日本三大たるま市の一つ、「毘沙門天大祭」が今井の妙法寺で行われました。毎年旧暦の1月7～9日に行われるこの祭に、ことしは全国から15万人が詰めかけ、連日にぎわいを見せました。寺の周辺には約600の露店が軒を連ね、中でも名物のたるまの店には絶えず人が訪れ、真剣な表情で選んでいました。



### 豊かな心と言葉をはぐくむために

#### 「児童文学講演会」

2月17日 中央図書館主催の講演会「こんなに楽しい絵本の世界」が開かれ、子育て中の人を中心に多くの方が参加しました。講師の浅木尚美さんは、「絵本の読み聞かせによって子どもの言葉は定着し、考えの幅が広がります」と、みずから推薦する本を紹介しながら、読み聞かせの大切さを語りました。

### 地域防火・防災の拠点がパワーアップ 「臨港分署、消防団第13分団詰所落成式」



#### 「臨港分署」

2月2日 中央消防署臨港分署が鈴川町に移転新築され、落成式が行われました。新たに消火薬剤庫が設けられたほか、地震などの災害発生に備え、長時間対応の自家発電設備も装備。新たな防災の拠点としてさらに充実しました。



#### 「消防団第13分団詰所」

2月13日 本市場の消防団第13分団詰所の全面改築が完了し、落成式が行われました。新年度には新ポンプ車両の導入も予定され、期待が高まる中、遠藤裕二分団長は「分団員が一丸となり、訓練に励みたい」と力強く述べました。



### 子ども会活動の楽しさを伝える

#### 「東部地区モデル子ども会研究発表会」

2月5日 県子ども会連合会主催の「東部地区モデル子ども会研究発表会」がロゼシアターで行われました。これは、富士市が県東部のモデル地区として指定を受けたもので、市内25校区を代表し、須津、神戸、鷹岡、富士中央、吉永第一小学校区が1年間の活動成果を発表。楽しかった行事を寸劇で再現し、会場の注目を集めました。